



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <http://www.toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長

(氏名) 井上 豊

TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	29,493	△5.4	715	246.6	439	172.2	70	—
27年3月期第3四半期	31,192	11.9	206	0.0	161	△60.6	△82	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 15百万円 (△93.4%) 27年3月期第3四半期 235百万円 (△71.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	3.28	—
27年3月期第3四半期	△3.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	46,241	10,758	23.1
27年3月期	45,920	10,870	23.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 10,672百万円 27年3月期 10,782百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△3.5	1,050	425.6	700	70.6	220	—	10.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	21,350,000 株	27年3月期	21,350,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	16,193 株	27年3月期	16,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	21,333,807 株	27年3月期3Q	21,334,108 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資の増加と堅調な個人消費を背景に緩やかな回復基調が続きましたが、第3四半期に入り、中国をはじめとする新興国経済の減速や資源価格の急落の影響が企業収益にも徐々に波及し、景気はやや停滞感を強めています。

今後も新興国経済の動向や資源価格の行方に加え、地政学リスクの高まりなどのリスク要因もあり、先行き不透明な環境が続くことが予想されます。

このような経営環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、全般的に製品需要が弱含みで推移し、加えて原材料価格の値下がりに伴う売価の下落の影響から低調に推移し、前年同期比16億99百万円、5.4%減収の294億93百万円となりました。

一方、利益面は、個別業績が、原材料価格の値下がりに伴う利益率の改善並びに新規開発品の収益寄与等で大幅な増益となり、連結業績においても、東邦化学(上海)有限公司における主要製品の販売活動の遅れに伴う損失負担の影響は大きいものの、増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の損益は、営業利益が前年同期比5億9百万円増益の7億15百万円、経常利益が前年同期比2億78百万円増益の4億39百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が70百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失82百万円)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

## (界面活性剤)

トイレタリー用界面活性剤は、ヘアケア用基剤が振るわず若干の減収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤が伸び悩みほぼ前年並みでした。土木建築用薬剤は、コンクリート用関連薬剤や建材用薬剤の落ち込みで大幅な減収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、潤滑剤が伸長し、若干の増収となりました。農薬助剤及び繊維助剤は、海外需要向けの販売が低調で減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比8億23百万円、5.0%減収の156億7百万円となり、セグメント利益は、5億93百万円となりました。

## (樹脂)

石油樹脂は、大口ユーザーの定修の影響等により大幅な減収となりました。合成樹脂は、自動車関連向けウレタン樹脂等の落ち込みを主因に減収となりました。樹脂エマルションは、金属表面処理剤等が振るわず減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比3億59百万円、12.9%減収の24億21百万円となり、セグメント利益は、30百万円となりました。

## (化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外向け販売が低調に推移し減収となりました。石油添加剤は、潤滑油添加剤や油水分離剤等が振るわず、金属加工油剤も主力の水溶性切削油剤等が低調で、共に減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比2億71百万円、5.5%減収の46億91百万円となり、セグメント利益は、1億14百万円となりました。

## (スペシャリティーケミカル)

溶剤は、電子材料用等が振るわず減収となりました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、半導体関連用は底堅いものの、第3四半期に入りFPD関連向けの需要が落ち込み、減収となりました。アクリレートは、電子情報材料関連のユーザーの在庫調整の影響があり、減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比2億30百万円、3.3%減収の67億12百万円となり、セグメント利益は、1億30百万円となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間において、報告セグメントに帰属しない東邦化学(上海)有限公司に係る費用を、同社製品の販売活動の本格化に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントに含めております。そのため、セグメント利益につきましては、前年同期と前提が異なりますので比較情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、462億41百万円と前期末比3億21百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が9億97百万円増加の244億60百万円、固定資産が6億76百万円減少の217億81百万円です。

流動資産の主な増減要因は、受取手形及び売掛金が11億23百万円の増加、たな卸資産が1億89百万円の減少です。

固定資産の主な増減は、有形固定資産が7億2百万円の減少、投資その他の資産が80百万円の増加です。

一方、負債合計は354億83百万円と前期末比4億33百万円の増加となりました。主な増減要因は、流動負債で、支払手形及び買掛金が4億19百万円の増加、短期借入金が4億65百万円の増加、固定負債で、長期借入金6億45百万円の減少です。

純資産は、107億58百万円と前期末比1億12百万円の減少となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純利益との差額の57百万円の減少、並びにその他の包括利益累計額が52百万円の減少です。

その結果、自己資本比率は23.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月6日の「平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,629	4,732
受取手形及び売掛金	8,972	10,096
たな卸資産	8,910	8,720
その他	949	910
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,462	24,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,714	8,434
機械装置及び運搬具(純額)	4,351	3,883
土地	3,281	3,146
建設仮勘定	22	8
その他(純額)	1,665	1,860
有形固定資産合計	18,036	17,334
無形固定資産	1,011	956
投資その他の資産	3,410	3,490
固定資産合計	22,457	21,781
資産合計	45,920	46,241

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,187	7,606
短期借入金	6,580	7,046
1年内償還予定の社債	1,800	1,800
未払法人税等	202	157
賞与引当金	346	141
その他	2,277	2,550
流動負債合計	18,393	19,301
固定負債		
社債	4,120	4,120
長期借入金	7,606	6,961
役員退職慰労引当金	105	107
退職給付に係る負債	3,470	3,525
資産除去債務	57	58
その他	1,294	1,407
固定負債合計	16,655	16,181
負債合計	35,049	35,483
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	6,037	5,979
自己株式	△4	△4
株主資本合計	8,685	8,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	828	890
為替換算調整勘定	1,318	1,196
退職給付に係る調整累計額	△49	△41
その他の包括利益累計額合計	2,097	2,045
非支配株主持分	87	85
純資産合計	10,870	10,758
負債純資産合計	45,920	46,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	31,192	29,493
売上原価	27,555	25,294
売上総利益	3,636	4,199
販売費及び一般管理費	3,430	3,483
営業利益	206	715
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	43	48
物品売却益	35	32
為替差益	122	-
その他	59	38
営業外収益合計	263	124
営業外費用		
支払利息	226	220
為替差損	-	104
その他	82	75
営業外費用合計	308	400
経常利益	161	439
特別損失		
固定資産廃棄損	26	5
減損損失	-	9
特別損失合計	26	15
税金等調整前四半期純利益	135	424
法人税等	216	353
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81	70
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△82	70



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81	70
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202	61
為替換算調整勘定	106	△124
退職給付に係る調整額	7	7
その他の包括利益合計	316	△55
四半期包括利益	235	15
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231	17
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△2

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	16,431	2,780	4,963	6,943	31,118	74	31,192	—	31,192
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	144	144	△144	—
計	16,431	2,780	4,963	6,943	31,118	218	31,337	△144	31,192
セグメント利益 又は損失(△)	556	△22	86	69	689	40	730	△523	206

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△523百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△591百万円及び棚卸資産の調整額19百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない東邦化学(上海)有限公司に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	15,607	2,421	4,691	6,712	29,432	60	29,493	—	29,493
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	144	144	△144	—
計	15,607	2,421	4,691	6,712	29,432	204	29,637	△144	29,493
セグメント利益	593	30	114	130	868	38	907	△191	715

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△191百万円には、棚卸資産の調整額△251百万円等が含まれております。なお、前第3四半期連結累計期間において、報告セグメントに帰属しない東邦化学(上海)有限公司に係る費用については、全社費用として調整額に計上してはいたしましたが、同社製品の販売活動の本格化に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントに含めております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。